

2016.9月

もいのものがたり

100年後の森林のために みどり

夏期号

第8号



武藏のイヌマキ群

筑紫野市の武藏地区、九州最古のお寺として有名な武藏寺のすぐそばにあります。細い渓流沿いに8本、広葉樹林内に3本の計11本からなっています。最大樹高は28.5m(平均22m)周囲2.58m。県内では大変珍しいものとして平成13年2月21日に県の天然記念物に指定されています。

第4回通常総代会

なお、可決された議案は次のとおりです。

勝理事（宮若市）、筑紫利英理事（岡垣町）、坂田俊夫理事（員外）、的場英敏監事（宗像市）の理事3名、監事1名が新たに選任されました。

平成28年7月26日（火）クリエイト篠栗にて開催

平成28年7月26日に第4回通常総代会を開催しました。



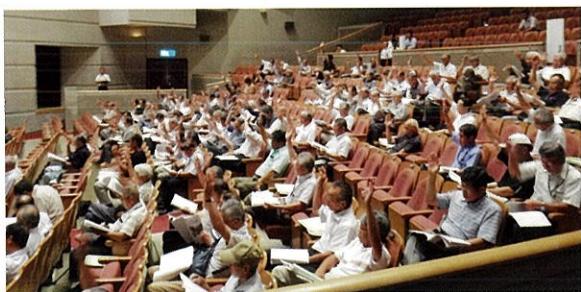
臼井組合長挨拶



ステージ全景

続いて、臼井代表理事組合長より冒頭に4月の熊本・大分の地震により被災された方々に対しお見舞いを申し上げ、「本年度事業総収益は計画に対し98%と下回ったが、事業収益は計画を上回ることがで

きました。組合の基本理念を実現するため組合員の皆様のご協力と行政関係機関のご支援をお願い申しあげます。」とのあいさつがありました。



出席された総代の皆様

冒頭に出席者全員による森林組合綱領を唱和し、本店事業課品原高規が福岡県広域森林組合基本理念を読み上げました。

安川理事の開会のあいさつに引き続き、臼井代表理事組合長より

冒頭に4月の熊本・大分の地震により被災された方々に対しお見舞いを申し上げ、「本年度事業総収益は計画に対し98%と下回ったが、

事業収益は計画を上回ることがで

きました。組合の基本理念を実現するため組合員の皆様のご協力と行政関係機関のご支援をお願い申しあげます。」とのあいさつがありました。

続いて、議長に嘉飯山支店管内の藤井一道氏を選出し、上程された7議案すべてが原案通り可決されました。

第7号議案役員選任の件につきましては、前回の役員選任より3年の任期が経過し、任期が満了となりました。

今回の改選で原田憲之代表理事専務、安川博理事、稻永忠理事、中村芳博理事、加藤武利理事、加留部誠二代表監事が退任され、寶部

《1号議案》
平成27年度事業報告書承認の件
《2号議案》
平成28年度事業計画書決定の件
《3号議案》
平成28年度役員報酬決定の件
《4号議案》
平成28年度借入金最高限度額決定の件
《5号議案》
一組合員及び員外に対する貸付金の最高限度額決定の件
《6号議案》
平成28年度借入金最高限度額決定の件
《7号議案》
余裕金預入先決定の件
《附帯決議》
役員選任の件



左より 筑紫理事 寶部理事 的場監事 坂田理事

新役員の紹介

また、総代会終了後に開催された理事会において、組合長等新しい執行体制が決定しました。

役職	氏名	地区名
代表理事 組合長	臼井正臣	飯塚市
副組合長 理事	横田進太	福岡市
副組合長 理事	三浦正	筑紫野市
理事	渡久行	古賀市
理事	石井光則	糸島市
理事	築地正輝	那珂川町
理事	寶部勝	宮若市
理事	筑紫利英	岡垣町
理事	加納恵子	嘉麻市
理事	坂田俊夫	員外
代表監事	吉村幸一	福岡市
監事	武末清治	那珂川町
監事的場	英敏	宗像市

当日は、福岡県福岡農林事務所山田正秀所長様、福岡県森林組合連合会亀石達朗代表理事専務様、福岡県水源の森基金谷健二理事長様から来賓祝辞をいただきました。



鶴田 義武 氏



内田 邦雄 氏

また、功労賞表彰として長年にわたり森林組合の作業班長を務め組合に貢献された内田邦雄氏（嘉麻市）、作業班長を務め林研会員として地域林业の発展に貢献された鶴田義武氏（筑紫野市）の2氏に対して組合長から感謝状と記念品が贈呈されました。



福岡農林事務所長
山田 正秀 様

平成28年度事業計画について 平成28年6月1日から 平成29年5月31日まで

平成28年度主要事業の計画は次のとおりです。

販売事業は先に計画した「素材

生産量5万m³体制の基本計画」の2年目に当たり、本年度は素材生

産量を4万m³、市・町から認定を受ける森林經營計画樹立目標面積

を2,300haとしました。

この目標を達成するには、作業班員の育成と機械化の推進が重要となります。よって、今年度も作業班員の研修と高性能林业機械（プロセッサ、グラップル）の導入を計画しています。

当組合管内的人工林は、植栽後50年を超す林分が大半を占めていることから、高齢化に伴う森林の持つ循環サイクルが崩れようとしています。

このことから、県の「主伐で元気にプロジェクト協議会」の助成措置を受け、主伐計画面積を30haと計画しています。

また、未利用材の有効活用を図るため積極的に「木になる紙」等チップ材の出荷に努め、収益の向上を図っています。

加工部門の原田加工場（製材）事業については、久山町の幼稚園の木造建築に伴う建築材料の製材

品を今年度納入します。また、引き続き篠栗町の中学校の木質化事業に取り組みます。

なお、製材工場の経営安定化を図るため、地域材を公共建築物に使用して頂くよう関係機関に働きかけます。

森林整備部門については、競争入札等で厳しい事業展開が予想されますが、森林整備事業の保安林改良・保育事業、県営林・市町有林の事業を始め荒廃森林再生事業及び海岸防災林の松くい虫防除事業の受注に努めます。

購買事業は、主伐後の再造林事業により造林面積が増加することから植栽樹種の検討と優良苗木の確保に努めます。

平成28年度事業収益では森林整備部門は今年度実績より減となりますが、販売部門において主伐事業の拡大に取り組むため增收となり、事業総収益は1,482,780千円、対前年比103%で計画しています。



等については次のとおりです。
総代会でいただいた質問・意見

Q 推進員制度がありましたが、活動実績はその後どうなつていいのか教えていただきたい。

A この件については、合併協議会では組織団の中に残していましたが、今の総代さんと推進員さんの住み分けの問題や推進員手当をどうするかということ現時点では推進員制度を実施していない。

その中で総代3名では組合員への連絡事項等の周知徹底が図られないでの、各地区に推進員の設置をお願いしたい。

Q 総代の選出が組合員50名に1名の割合になつていて、組合員の意見を組合に届けるのが難しい状況なので、今後組合内

部で検討したい。

貸借対照表(平成28年5月31日現在)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,087,725	流動負債	289,271
有形固定資産	463,127	固定負債	216,834
無形固定資産	194		
外部出資	44,129		
その他固定資産	22,398		
資産合計	1,617,574	負債合計	506,105
		組合員資本	
		出資金	863,466
		法定準備金	49,356
		任意積立金	122,879
		当期末処分剰余金	66,950
		資本準備金	8,816
		純資産合計	1,111,469
		負債及び純資産の合計	1,617,574

損益計算書

(自平成27年6月1日 至平成28年5月31日)

(単位:千円)

科目	金額
事業総利益	599,428
1 指導事業	収益 11,630 費用 5,353
2 販売事業	収益 229,835 費用 117,206
3 加工事業	収益 44,551 費用 31,572
4 森林整備事業	収益 1,149,354 費用 681,810
事業管理費	524,358
事業利益	75,069
事業外収益	3,338
事業外費用	3
経常利益	78,404
特別利益	36,417
特別損失	36,294
税引前当期純利益	78,526
法人税等合計	20,062
当期剰余金	58,464
前期繰越剰余金	8,485
当期末処分剰余金	66,950

※単位未満の数値を切り捨てて表示していますので、加減した数値は一致しない部分があります。

平成27年度
剰余金処分計算書

適用	金額
当期末処分剰余金	66,950
剰余金処分額	60,000
1 法定準備金	14,000
2 任意積立金	
農林年金対策積立金	10,000
特別積立	36,000
次期繰越剰余金	6,950

※単位未満の数値を切り捨てて表示していますので、加減した数値は一致しない部分があります。

緑豊かな森林を
次世代へ引き継ぐため

今こそ、間伐を行いましょう

福岡県荒廃森林再生事業は平成29年度までです!

福岡県では、長期間放置されたスギヒノキ林を手入れし、健全な状態で次世代へ引き継ぐため、森林環境税を活用して、市町村が事業主体となって、間伐などを行なう荒廃森林再生事業に取り組んでいます。

間伐は健全な森林を育てる大切な作業です。緑豊かな森林を次世代に引き継ぐため、今こそ間伐を行いましょう。

～荒廃森林再生事業による森林の整備(間伐)～

対象森林・事業要件	・概ね15年以上手入れがされていないスギやヒノキ林 ・市町村と森林所有者との間で事業実施に関する協定を締結
整備費用	・森林所有者の負担はありません(市町村が全額負担)。 ・事業の実施に必要な作業路も森林所有者の負担なしで開設できます。

～間伐は健全な森林を育てます～

間伐すると	間伐しないと
間伐を行うことによって、幹が太く、枝葉がしっかりとしたまっすぐで良質な木を育てます。 また、土砂流出の防止等といった森林の公益的機能が向上します。	間伐をしないと木の成長が抑制され、モヤシ状の木になってしまいます。 このような森林は病虫害や風雪害を受けやすくなります。

～事業実施までの手順～

市町村による現地調査・確認

市町村と森林所有者による協定の締結

間伐等の事業の実施

※間伐などの事業や調査は市町村から請け負った森林組合等の事業体が行います。

お問い合わせ先

詳しくは森林の所在する市町村役場、福岡県広域森林組合（本・支店）、または福岡県の各農林事務所まで。
平成29年度までの事業予定です。お早めにお問い合わせ下さい。

理事會報告（平成27年度、28年度）

平成27年度

第5回（平成28年3月9日）

◎付議事項

第1号議案

総代選挙の実施について

①総代選挙手続きについて

②選挙管理者等の指名について

③組合員の資格調査について

第2号議案

諸規程の改正について

①現業職員就業規則

②現業職員独立助成規程

③再雇用規程

④嘱託職員就業規則

⑤特定個人情報等取扱規程

ふくおか木質バイオマス発電事業について

第3号議案

ふくおか木質バイオマス発電事業について

①事業計画

②木材購入価格

③固定買取価格制度申請

森林総合研究所の分取契約変更について

第5号議案

平成28年役員改選における今後の日程について

◎報告事項

第1号議案

①組合行事報告及び予定について

②事故報告について

③組合ホームページについて

第3号議案

第4号議案

給与規程の変更及び定期昇給について
平成27年度第4回通常総代会について

第4号議案

現業職員独立助成規程について
職員の夏期賞与の支給について

第5号議案

職員の夏期賞与の支給について
部改正について

第6号議案

給与規程の一部改正について
平成27年度固定資産の処分について

第7号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第8号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第9号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第10号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第11号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第12号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第13号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第14号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第15号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第16号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第17号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第18号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第19号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第20号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第21号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

第22号議案

平成27年度固定資産の処分について
職員の夏期賞与の支給について

森林保険

森林保険は台風、山火事などの災害による森林の損害への大切な備えです

1 加入できる森林は?

人工林を対象としています。

2 誰でも申し込める?

個人法人を問わずどなたでもお申し込みいただけます。

3 相談・申込先は?

最寄りの支店・支所、森林組合連合会にお気軽にご相談下さい。

保険金の支払いの対象となる8つの災害

火 災

山火事で受けた損害

風 害

暴風による幹折れ、根返りなどの損害

水 害

豪雨洪水による埋没、水没、流失などの損害

雪 害

大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害

干 害

乾燥による枯死などの損害

凍 害

凍結、寒風などによる枯死などの損害

潮 害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

噴火災

火山噴火による焼失、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

お申込みの流れ

お申込みのご相談

最寄りの支店支所へお気軽にお電話ください。

契約内容のご提案

ご相談内容に応じて、お見積りをご案内いたします。

お申込み

お申込み内容を決定していただき申込書にご記入、ご捺印ください。申込時に保険料のお支払いもあります。

ご契約成立

森林保険センターから証書を送らせていただきます。大切に保管してください。

保険金のお支払い例

13年生のヒノキが水害によって流された場合・・・

場所：筑紫野市
契約面積：6.46ha、実損面積：0.29ha
保険料：**53,208円／年**
(ha当たり換算8,237円)
お支払いした保険金：**791,700円**
(ha当たり換算2,730,000円)

46年生のヒノキが風害によって折損した場合・・・

場所：筑紫郡那珂川町
契約面積：1.35ha、実損面積：0.47ha
保険料：**30,891円／年**
(ha当たり換算22,882円)
お支払いした保険金：**1,007,100円**
(ha当たり換算2,142,766円)

60年生のスギが雪害によって折損した場合・・・

場所：糟屋郡久山町
契約面積：0.30ha、実損面積：0.15ha
保険料：**1,892円／年**
(ha当たり換算6,307円)
お支払いした保険金：**249,000円**
(ha当たり換算1,660,000)

『国産材の行方』について語る

NPO法人活木活木(いきいき)森ネットワーク理事長

(元鹿児島大学教授) 遠藤 日雄



講師 遠藤 日雄 氏

平成28年4月26日(火)に篠栗町のクリエイト篠栗の大会議室に組合関係者60名余りが参加し、これから國産材の行方にについて、講師にNPO法人活木活木(いきいき)森ネットワーク理事長の遠藤氏をお迎えし、今後の國産材の動向、全國の製材・加工業の向かおうとしている方向性、未利用材の利用可能性等について研修会を行いました。

組合長あいさつの後、遠藤氏から講演をいただきました。

テーマは「森林組合における素材生産の方向性について」です。冒頭に、スギを中心とした人工林が成熟している現在、森林組合はこれまでにない大きな役割を期待されていると切り出されました。森林組合は「森林・林業再生プラン」の頃に、「抵抗勢力」とみなされた時期もあったが、今や、期待される林業事業体になっている。批判を血肉として成長したからだ。森林組合系統が果たす役割が重要なつてている。

遠藤氏は、「林政ニュース」で「遠藤日雄のルポ&対論」を担当し、全国を飛び回り、最新の森林・林業・木材産業情報を発信しています。

研修会当日は「熊本・大分」震災直後のことでの九州新幹線や九州自動車道が不通の中無理をお願いし、空路臨時便で来福いただきました。

組合長あいさつの後、遠藤氏から講演をいただきました。

遠藤氏は、「林政ニュース」で「遠藤日雄のルポ&対論」を担当し、全国を飛び回り、最新の森林・林業・木材産業情報を発信しています。

研修会当日は「熊本・大分」震災直後のことでの九州新幹線や九州自動車道が不通の中無理をお願いし、空路臨時便で来福いただきました。

組合長あいさつの後、遠藤氏から講演をいただきました。

組合主体の製材工場の挫折

昭和50年代後半に國産材の產地化を目指す取り組みの中で、半官（補助金）半民の製材工場が各地に設置された。しかし、多くの官主導（森林組合を事業主体とした）の工場は挫折した。

しかし、國産材製材工場の一部は規模拡大を続け、全国に年間原木消費量10万m³を超える会社が増加している。

このように、北海道、南東北・北関東、九州で顕著にみられる大型量産製材工場も、森林組合と連携しなければフル稼働できれない。森林組合が期待されているという意味もここにある。

かつて森林組合が製材工場（特に間伐材製材）を持ったが挫折したのは、マネジメント能力や営業能力に欠けていたからである。当時はやむを得なかつたと思う。

しかし、ここ数年、全国的に森林組合の存在感が増している。一生懸命頑張っている姿がはつきりと見えた。その事例として、川上による川下の誘致で成功している事例が紹介されました。

製材・合板工場が沿岸（港の近くの工場）から内陸部に立地移動しながら、スギ・ヒノキの國産材の使用割合が増加している。合板業界では近い将来500万m³の國産材使用量が見込まれているとの報告がありました。



研修会の様子

九州は、豊富なスギ材があり日本一の国産材製材産地となつてている。

(左記表参照)

しかし、製材製品を目的とするA材、集成材・合板材用のB材、チップ等に使用するC材の中で、最近、南九州を中心とした木質バイオマス発電の稼働によつてC材の需要が高まつてゐる。

バイオマス発電所は、やや乱立気味ではないか。しかも九州の木質バイオマス発電用丸太価格は7千円／トン(1m³)、最近では8千円を提示する発電所も出でてゐる。また末口30cm以上のスギ大径材の単価が安くなつてゐる。この材の有効活用が求められてゐる。九州では、中国や韓国等に対する木材の輸出が急激に増加してゐる。宮崎、鹿児島の森林組合が連

原木消費量3万m³以上の製材工場及び割合
(道県別)

都道府県別	工場数	割合(%)
北海道計	12	15.8
青森	1	1.3
岩手	4	5.3
宮城	1	1.3
秋田	3	4.0
山形	1	1.3
東北計	10	13.2
福島	4	5.3
栃木	4	5.3
茨木	1	1.3
群馬	1	1.3
東北・関東計	10	13.2
富山	1	1.3
三重	1	1.3
奈良	1	1.3
和歌山	2	2.6
中部・近畿地方	5	6.5
島根	1	1.3
岡山	4	5.3
広島	2	2.6
山口	1	1.3
中国計	8	10.5
愛媛	6	7.9
高知	2	2.6
四国計	8	10.5
福岡	2	2.6
佐賀	1	1.3
熊本	4	5.3
大分	6	7.9
宮崎	9	11.9
鹿児島	1	1.3
九州計	23	30.3
全国計	76	100.0

携して4万m³の材を輸出しているケースもある。森林組合の県境を越えた取組みとして注目されている。

ここ数年のスギ丸太相場は、C材価格が上がり、B材には安定感がある。しかしその一方で肝心のA材価格が下落している。ABCが1つの串に刺さつた「団子3兄弟」状況になつてゐる。A材の需要拡大をいかに進めていくかが大きな課題となつてゐる。

事例の1つとしてあげた群馬県森林組合連合会渋川県産材センターでは、A材、B材、C材すべて3m造材の固定価格(3カ月ごと)で買取つてゐる。Aは柱(グリーン材)に挽き、Bは集成材ラミナに製材して県産材加工センターへ販売している。C材はチップにして製紙メー

カーに売つてゐる。このため丸太の出荷量が増加してゐる。参考になる事例である。

B材(合板用)の販売方法の事例として、日田地域の森林組合や原本市売市場が連携して山陰の日新林業へ販売している様子を紹介した。

遠藤氏は、最後に日田咸宜園の広瀬淡窓が吟じた「愚痴をこぼすのはやめよう。一人だけで行うのではなく、志を同じくする者同士が助け合おう。そのためには、おののが川の水を汲み、あるいは薪を拾うところから始めなければならぬ」と漢詩を紹介され、森林組合として大同団結しながら地道な努力が必要だと結ばれました。

講演者プロフィール

遠藤 日雄 氏

- ・昭和24年生まれ、北海道出身
- ・九州大学大学院農学研究科博士課程修了
農学博士(九州大学)
- ・林業経済学会賞受賞(2005年)
- ・農林水産省林業試験場 東北支所
経営研究室長・経営組織研究室長
- ・独立行政法人 森林総合研究所
林業経営/政策研究領域チーム長
- ・鹿児島大学教授

- ・現在はNPO法人活木活木(いきいき)森ネットワーク理事長

《主な著書》

- 「スギの行くべき道」、「山を豊かにする木材の売り方」(全国林業改良普及協会)
- 「木づかい新時代」、「不況の合間に光が見えた!新しい国産材時代が来る」、
- 「現代森林政策学」(日本林業調査会)など多数

「林政ニュース」にて「遠藤日雄のルボ&対論」掲載中

この後、参加者から多くの質問や意見が出されました。



職員による熱心な質疑の様子

- Q1** 「国産材輸出が進んでいない。B材、林地残材の対応が出来ていない。良い対策はないうだろか」
- A1** 「群馬県森林組合連合会渋川県産材センターが参考になると思う。ABC材を仕分けしてどの実需に向けていくのかを検討することが必要。福岡県広域森林組合では、素材生産量5万m³体制確立を目指しているが、こうした施設を設置することでモチベーションが上がつくるのではないか」

- Q2** 「国産材輸出が進んでいない。B材、林地残材の対応が出来ていない。良い対策はないうだろか」
- A2** 「合板会社が国産材をほしがっている。定価販売を希望している。中間土場があればA材とC材の売り先が見つかないと需要が冷える。コスト削減になる。しかし、A材とC材の売り先が見つかないと需要が冷える。負担がかかる。輸出でみれば志布志港が中間土場の役目を果たしている。営業による販路開拓が先ではないか。」

- Q3** 「丸太の売り手、買い手双方に利益が出れば文句が出ない。利益が廻ってくるともつとやつてみようという気になる。そうなれば取り扱い量が増えてくる。」
- A3** 「前ページ広瀬淡窓の漢詩について」「森林組合が愚痴をこぼさないとはどのようなことなのか」
- Q4** 「素材生産量5万m³を目指して道づくり、人づくり、補助事業で機械化を進めて条件はそろつてきたが、生産した材を少しでも高く売るためにはどうすればよいのか。一番力を入れていくべきポイントはどこなのか」

- Q5** 「木材を商品化するのにどこまでが森林組合の仕事か」
- A5** 「森林整備だけをやつしていく時代ではない。各地域では製材加工事業に力を入れている組合が出ている。福岡県広域森林組合が掲げている5万m³は大きな数字だ。これに付加価値を付けるために組合が何をすべきか、検討に値する」
- Q6** 「森林は在庫である。組合が安定的に材を供給するには森林所有者との結びつきをより深くする必要がある。」
- A6** 「大分県の佐伯広域森林組合では組合が経営する製材工場に安定的に丸太を出荷するためにはどうすればよいのか。アプローチしている。い

- Q7** 「木材をより高く買ってくれる業者と信頼関係を築いている。バイオマスの単価が安定することで国産材の立木価格が上がつていている。今後、協定販売ができるのか」
- A7** 「日本合板工業連合会は国産材利用500万m³(年)を目標としている。外材利用はもう無理。国産材のスギ・ヒノキ・カラマツが必要とされる。製材消費量1,000万m³の半分を合板メーカーが担うことになる」
- Q8** 「木材の流通の実態が理解できた。身近な未利用材の搬出等について真剣に考えなければならぬ」、「A材B材C材の単価差がなくなっているので生産コスト等もう少し努力しなければならない」、「A材B材C材の単価差がなくなり、「早く、バイオマス発電所を建設しなればならない」等研修会が有意義であつたとの声がたくさんありました。」
- A8** 「今回の研修は、組合合併後初めての事業研修となりました。職員による木材の生産性向上に向けた取り組みや安定した取引関係の確立の必要性を感じました。今後も組合の事業展開に結びつくよう職員の資質向上を図る各種研修会を計画していきます。」

福岡県農林業総合試験場 資源活用研究センター便り（7）

（夏の作業にご注意）

今年の夏の気温は平年より高い予報となっています。夏の作業には例年にも増して十分注意する必要があります。

今回は、夏特有の災害「熱中症」と「蜂刺され」について、ご紹介します。

◆熱中症

熱中症の発生は7～8月にピークになり、全国で毎年25名程度（5年間平均）の死亡災害が発生しております。その内、1～2名の方が林业での災害です。

②症状

高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたりすることにより、体内に熱がたまり、筋肉痛や大量な発汗、さらには吐き気や倦怠感などの症状が現れ、重症になると意識障害などが起こります。

③予防法

「水分補給」と「暑さを避けること」が大切で、こまめな水分・塩分の補給（のどの渇きを感じなくとも補給）、現場では、帽子や通気性の良い衣服の着用、炎天下での作業は控える、日陰の利用、こまめな休憩等に注意が必要です。

性の良い衣服の着用、炎天下での作業は控える、日陰の利用、こまめな休憩等に注意が必要です。

◆ハチ刺され

刺す蜂の中でも怖いのは、スズメバチとアシナガバチで夏～秋がピーク、全国で毎年19名程度（5年間平均）の死亡災害が発生しています。熱中症と同様、その内、1～2名の方が林业での災害となっています。

①症状

局所症状：刺された所の周りが赤く腫れる、痛がゆい等。
全身症状：顔や体が赤くなり全身がかゆい、なんとなくだるい、重くなると、腹痛、吐き気、頭痛、めまい、全身のむくみ、息が苦しい、全身の力が抜ける等の症状が出ます。

・アレルギー反応（アナフィラキシーショック：意識がなくなり血压は低下、手当てが遅れると命が奪われる）があります。

③予防法

蜂の巣に近寄らない、適切な服装で作業する（肌の露出を避ける、黒いものは身に着けない、防蜂網等着用）、また、蜂の殺虫剤スプレーを携行することも大切です。

また、刺された場合には、毒吸引器で毒を絞り出す、患部を冷水で冷やす、抗ヒスタミン軟膏を塗る等の処置を行うことが大切です。発疹や咳、目がくらむ等の症状が出たら医療機関の診察を受けてください。

アナフィラキシーショックを起すような蜂にアレルギー反応を示す人には医師の処方によるエピペン注射が効果的です。

◆夏バテ予防

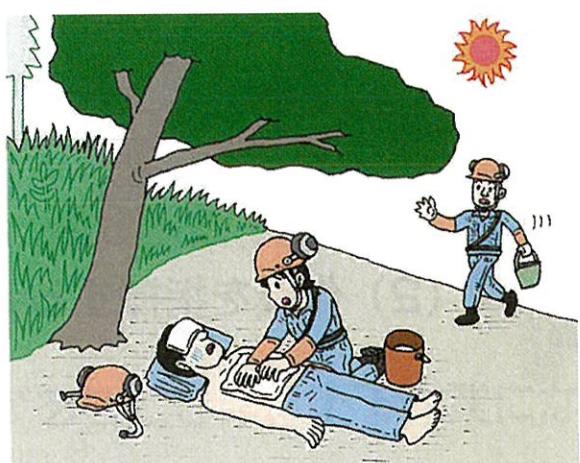
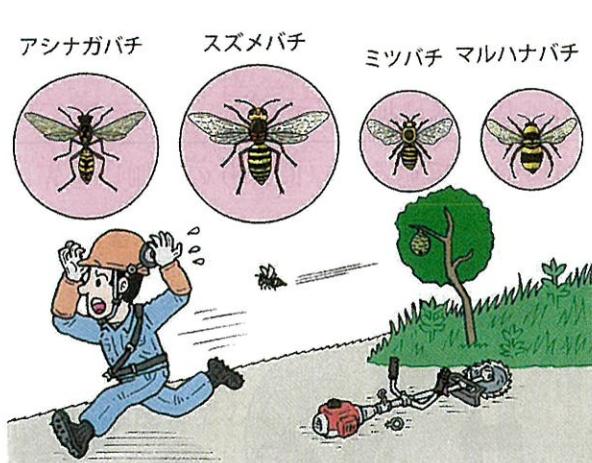
夏の作業に当つては、夏バテしない健康管理が一番重要となります。バランスの良い食事、十分な睡眠、入浴でリラックス（ぬるめのお風呂にゆっくりと）、何よりも無理をしないことが大切です。

暴飲暴食は厳禁です。特に冷たいビールの飲み過ぎにはご注意を!!

（林業普及課
0942（45）7868）

【参考図書】

林業・木材製造業労働災害防止協会
「蜂・ダニ刺されの予防と対策」「安全な刈払機作業のポイント」



職員紹介

Vol.7

このコーナーでは、各地で日々業務に励んでいる職員をご紹介します。

《記載内容》

- ①氏名 ②所属・役職
- ③担当 ④趣味
- ⑤コメント・座右の銘等



すみた けんいちろう
①住田 健一郎
②福岡西支店
糸島支所
主任技師
③森林整備・林産等

- ④スポーツ観戦
- ・おすすめのうどん
牧のうどん
- ⑤座右の銘
猪突猛進



まつだ たかはる
①松田 隆春
②福岡北支店
支店長
③支店・支所の統括
④庭木の剪定

⑤コメント

「チャンスは自分で作るもの」
組合事業の推進に努めてまいりますので、ご協力よろしくお願いします。



しなはら さき
①品原 早希
②嘉飯山支店
総務課 主事
③総務

- ④友達とのおしゃべり
- ⑤コメント

地元の皆様、いつも森林組合事業にご協力いただきありがとうございます。



しなはら たかのり
①品原 高規
②本店事業課
林産係長
③林産

④家族サービス

おすすめのおでかけスポット
佐賀県立宇宙科学館

⑤コメント

粉骨碎身の努力を傾注してまいります。(左の御方へ・・・)



つきじ のりき
①築地 徳喜
②福岡南支店
筑紫野支所 技師
③利用事業・森林整備
④車・ボウリング

⑤座右の銘 一日一笑

コメント

筑紫野支所に異動して一年が経ちました。新たなエリアの担当になり、分からぬこともありますが、残り少ない組合の仕事、最後まで頑張ります。

【本店】

事業課林産係長

品原 高規 (本店林産・加工係長)

総務課経理係主任主事

潮 敦仁 (本店総務課経理係主事)

事業課森林整備係技師

池田 洋輔 (嘉飯山支店事業課技師)

現業職員 辻 新平 (福岡西支店現業職員)

阿比留貴博 (嘉飯山支店現業職員)

現業職員 阿比留貴博 (嘉飯山支店現業職員)

片江 文雄 (福岡西支店事業課林産係長)

事業課長 片江 文雄 (福岡西支店事業課林産係長)

事業課長兼総務課長 石橋 義朗 (福岡南支店兼筑紫野支所長)

秋山 敦津子 (福岡南支店総務課総務係主任)

支店長兼総務課長 横口 圭 (福岡南支店事業課係長)

山田 久能 (本店事業課技師)

筑紫野支所長 筑紫野支所長

秋山 敦津子 (福岡南支店総務課総務係主任)

事業課長兼岡垣支所長 猪又 好浩 (福岡北支店事業課長)

石原 真男 (嘉飯山支店事業課技師)

事業課林産係主任技師 猪又 好浩 (福岡北支店事業課長)

上野 紀昭 (福岡北支店岡垣支所長)

事業課森林整備係技師 萩尾 憲治 (福岡南支店筑紫野支所技師)

事業課森林整備係主任主事 野見山久恵 (嘉飯山支店総務課主任)

事業課林産係主任主事 野見山久恵 (嘉飯山支店総務課主任)

事業課森林整備係主任主事 上野 紀昭 (福岡北支店岡垣支所長)

事業課森林整備係技師 萩尾 憲治 (福岡南支店筑紫野支所技師)

現業職員 鮎川 義臣 (本店現業職員)

職員異動報告

森林施業プランナー 試験合格者紹介

森林の施業等について計画する
プランナー試験に新たに次の10名
が合格しました。

【本店】	総務課経理係	潮 敦仁
【福岡西支店】	事業課森林整備係	姫野 聰
【福岡南支店】	事業課林産係	富安謙太郎

【福岡北支店】	事業課森林整備係	川口 努
【嘉飯山支店】	事業課森林計画係	尾塚 卓司
【嘉飯山支店】	事業課森林整備係	成清 良輔

【嘉飯山支店】	事業課森林整備係	伊藤 里美
【嘉飯山支店】	事業課森林整備係	品原 早希
【嘉飯山支店】	事業課森林整備係	野中憲二郎

当組合では、認定森林施業プランナー15名が地域の森林管理に従事しています。



新現業職員紹介



こうだ かつとし
氏名／幸田 勝利
所属／糟屋支店
担当／利用事業
趣味／音楽鑑賞
おすすめの食べ物：阿嘉島の葉っぱもち
座右の銘：一期一会

コメント

きれいな仕事を心がけたいと思います



つきの あつし
氏名／月野 敦史
所属／糟屋支店
担当／利用事業
趣味／ホルン演奏、庭いじり（雑木の庭）、
登山
おすすめの山小屋／薬師岳山荘

コメント

炎天下での草刈り等、大変な仕事もありますが、機械を止めたときに感じる涼風や鳥のさえずりに日々癒されています。
周囲の安全に気を付け、楽しみながら一つ一つの技術を身に着けていきたいと思います。



いなおか かずよし
氏名／稻岡 和好
所属／福岡西支店
担当／林産
好きな食べ物／甘い物、辛い物

コメント

福岡に引っ越してきて早いもので1年が過ぎ、来た頃はトラックの運転以外はグラップルの操作、地名、道路等覚えることで大変でしたが、今はなんとか頑張っています。



やまな しゅういち
氏名／山名 秀一
所属／福岡西支店
担当／林産
趣味／近々ムエタイを始めようと思っています

コメント

4月より福岡西支店に配属されました。昨年まで京都で3年間林業について学び、今年度より福岡に戻ってきました。実務経験2年目、まだまだ半人前ですので、一日も早く一人前になれる様に頑張ります。よろしくお願いします。



やまだ だいすけ
氏名／山田 大輔
所属／福岡西支店
担当／林産
趣味／ビリヤード、ボウリング
好きな音楽／ハウス、E D M

コメント

福岡西支店に4月より現業職員（フォレストワーカー）として加わりました。林業はまったくの初心者だったので、皆様方に迷惑をかけながらも覚えないといけないことも何度も失敗しながら身体で覚えだしてきました。とにかく安全第一で知識と技術の向上を目指して日々これからも頑張ってまいります。



しおかわ かずや
氏名／塩川 和弥
所属／福岡北支店
担当／林産・森林整備

コメント

4月から心機一転北支店でお世話になっています。全力を出し切り頑張っていきたいと思いますので宜しくお願いします。



いいほし たくや
氏名／飯星 太久哉
所属／福岡北支店
担当／林産・森林整備
趣味／ゲーム
おすすめのゲーム／
最近オンラインゲームにハマっています

コメント

4月から福岡北支店に配属されました、超が付く程の新人です。沢山覚えることがあり、大変な時もありますが、先輩方に一日でも早く追い付ける様に頑張りたいと思います。



うすい しげとよ
氏名／臼井 茂豊
所属／嘉飯山支店
担当／林産・森林整備
趣味／スポーツ（サッカー）
座右の銘／志高く

コメント

4月より現業職員に加わり、現在は主に伐倒作業をさせてもらっています。はじめは、山を歩くだけでも体力的に大変な仕事だなと思っていましたが、徐々に慣れてきました。今では、自然の中で作業する楽しさや、木を自分の狙った所へ倒す楽しさなどを学び、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

現業職員の一日(3)

私の名前は伊藤里美、福岡北支店所属の現業職員です。今日は住宅地近くの法面伐採の依頼を受け現場作業に来ています。

住宅地側に樹木が張出し日陰になっています。また、道路や庭先に落葉や枯枝が堆積しているようです。

作業開始前に現場の状況確認と作業工程の打合せを行い、いざ作業開始です。

まずは張出した樹木と枝の伐採です。雑木は枝の張り具合によって倒れる方向が変わってしまうため慎重に作業を進めていきます。受け口の入れ方やクサビを打って伐倒方向を定めますが、どうしても無理なときは重機を使ったりワインチで引いたりと腕の見せ所です。

思い通りの方向へ樹木を倒さないと重大事故に繋がってしまうので、より確実な方法を模索します。樹木の伐採が終わったら重機を使い伐採木、枝葉の片付けをして今日の作業は終了です。

『安全第一』をモットーに依頼者様に満足して頂けるように日々頑張っていきたいと思います。



山の日

8.11

2016年1月1日から施行された新たな国民の祝日です。
『山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する。』
を趣旨として誕生しました。

世界で初めてとなる「山」に関する国民の祝日は、
日本のみならず、海外からも大きな関心を集めています。

磯辺峠

今回紹介する峠は、磯辺峠です。県道92号線で宗像市と官若市の境に位置する、別名「猫塚峠」と呼ばれる峠です。

遠賀・鞍手・宗像から多くの猫が集まつていきました。翌朝、和尚が本堂にいくと多くの猫と大ネズミが血まみれになつて死んでいました。和尚は大ネズミを退治するのに、こんなにも多くの猫が死んだかと思うと可哀想になり寺の猫共々手厚く葬りました。その墓が猫塚といわれています。

この猫塚は今も残つており、官若市側の峠入り口に猫塚公園として整備されています。



猫塚公園

「むかーし昔、ここに西福寺という寺があり、和尚に可愛がられていた猫がいました。いつの頃かこの寺に一匹の大ネズミが住み着きました。このネズミは乱暴で、和尚を襲つたりしました。和尚は猫にこの大ネズミの退治を頼みました。

猫塚峠と呼ばれる由来はこうです。



猫塚の様子

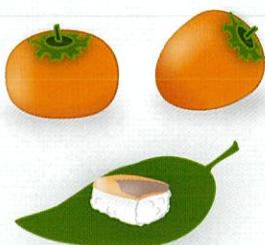
山の幸紹介

柿の葉寿司

柿の葉(青葉)をきれいな布などで綺麗に拭き好みのネタを載せる(写真のネタはシメサバとスマートサーモン)。この時に茎部分を切り落としておくと巻きやすいです。

作り方

- ① ネタの上に酢飯を置く。
目安35g程。
 - ② 葉先からお米に沿わすように巻く。
 - ③ ネタ側を上に向ける。
 - ④ タッパーなどに綺麗に並べ常温で半日ほど寝かせれば完成!
- ※冷蔵庫保存するとシャリが固くなります。



柿の葉は6月~7月に採れる青葉の方が香り・見た目がきれいです。柿の葉は巻きやすいように大葉がお薦めです。多少不格好でも最後に押しを効かせるので気にならなくなります。手を汚さず食べられるのでお客様でも楽しんでご賞味いただけます。

大入かずらの綱引き

概要

糸島市二丈大入地区では、8月15日の早朝より山からかずらを取りつけて太く長い綱を作り、氏神様である大入白山神社前で青年組と壮年子供組の二手にわかれて綱引きを行う伝統行事があります。

由来

これは地獄に落ちようとする亡者達を救う為、綱を亡者たちに差し伸べる仏さまと、それをさせまいとする地獄の鬼達との綱引きが由来とされています。

この行事は、今から約200年前から行われていたと言われ、なんですかずらなのか？というのは定かではありません。

昔から大入地区は東西の海に挟まれて、津波がしばしば襲つてきて、ある大津波で大浸水が起こりました。勝ち組の土俵が寄せ来る波の危険に瀕した時、海岸に残されたといわれています。「これ

は亡き人々を供養した賜で、仏様の加護に違ひない」と、末代まで続けようと、今日まで受け継がれてきました。

しかし、かずらも少なくなり迷信だと言う人も出てきて、一時中止になつた事もあつたがその年に

恐ろしい事が起こり、これはきっと仮の祟りだと、次の年からまたはじまつたと言われています。

ルール

綱引きの勝負は3回戦で、勝ち組が仮組・負け組が鬼組となり、勝負がつくと審判は大鉈で綱を真ん中から2本に切り離します。

負けた鬼組は、握っていた綱を引きずつて海に投げ入れ、勝ち組の綱は浦浜に運ばれ、その綱で相撲の土俵を作り、亡者たちの極楽入りを祝つて、子供たちが元気に相撲を取ります。

今もこの伝統行事は、大入地区の夏の風物詩として行われています。



綱引き風景

作業班紹介

今回紹介する作業班は、嘉麻市を中心に作業をされている藤本福巳さん（藤本班）です。

藤本さんは林業をはじめて53年のベテラン作業員です。旧嘉飯山森林組合の時代から作業班の一員として林産の現場をメインに森林組合の仕事に取り組んでもらっています。

藤本さんが林業を始めたのは19歳のときです。21歳のときに弟子入りして本格的に林業に取り組んでこられたそうです。林業を始めたときはチェンソーなどの道具はなく、手ノコを使い伐倒作業を行っていたそうです。当時は山の中に小屋を建て、師匠や先輩達と泊まり込みで伐倒作業を行っていたそうです。

一番年下の藤本さんは、朝一番に現場に出て作業に取り組み、仕事が終わると先輩たちの夕食の準備という日々を送られていたそうです。「当時は

師匠や先輩達に厳しく指導された」と懐かしそうに話してくれました。

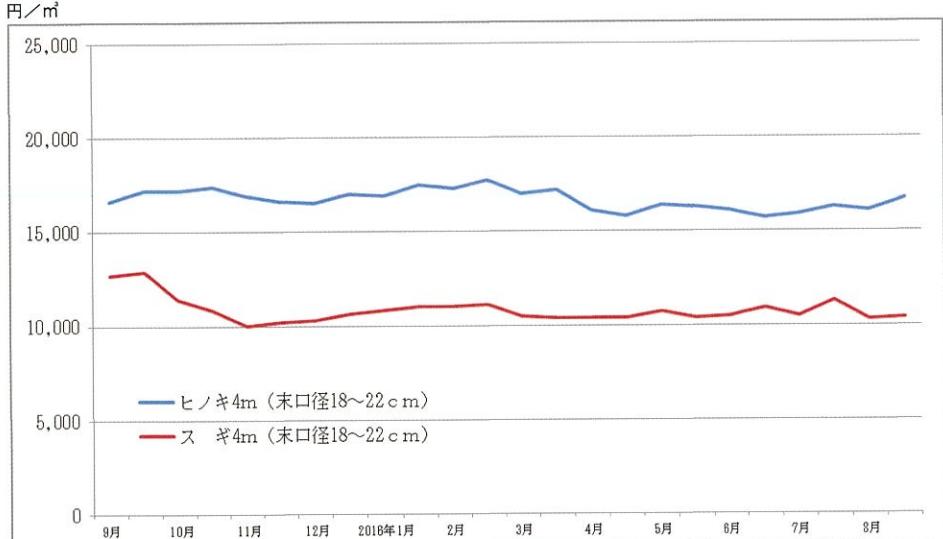
藤本さんの話では、「今後も林業を続けていくことで、手入れのいきとどいた山を山林所有者に返していきたい。」とのことです。



市況の動向

今年の梅雨は、例年に比べ雨が少なく、虫の発生が控えめでした。その為、価格の下げ幅は少なく、規格によつては値上がりしたものもありました。しかし、梅雨明けと同時に回復かと思われた価格は、好天に恵まれ出材が増える一方で伸び悩み、現在スギ平均10,700円、ヒノキ平均15,000円となっています。今後の価格上昇に期待したいところです。

スギ・ヒノキ木材価格の推移(福岡県森林組合連合会 浮羽事業所市況より)



福岡県広域森林組合ホームページを開設しました

当組合の概要や事業説明等の情報を掲載しております。

また、広報誌のバックナンバーやパンフレットを検索・閲覧できます。

組合員の皆様に活用されるホームページを目指しますので、よろしくお願いします。

福岡県広域森林組合

検索

ホームページアドレス <http://f-forest.org>

第2回 伐倒技能選手権

《開催日》平成28年10月6日(木)
雨天時 7日(金)

《開催場所》糟屋郡篠栗町萩尾地区

昨年10月に福岡県では初めてとなる伐倒技能選手権が、作業者の安全意識・伐倒技術の向上を目的に開催されました。

昨年に引き続き、第2回伐倒技能選手権を開催します。

主催：伐倒技能選手権実行委員会



競技の様子